

HSK

# たんねん 釧路



昭和48年1月13日 第3種郵便物認可  
HSK 通巻第394号

発行 平成16年10月10日  
毎月10日発行 / 一部 100円  
(会費・協年会費に含まれています)

編集 財団法人 北海道難病速釧路支部  
発行 北海道身体障害者団体定期刊行物協会

No.43

# 巻頭言

岐路

志谷 美奈子

自分が中学生の時、将来の夢なんて何も考えていなかった。なりたい職業もあこがれの職種もなくただ漠然と高校生にはならなきゃいけないんだな、とだけ。

高校生になり、ワープロ・簿記等の事務系の勉強を始め、そこで初めて自分が夢中になってやれる事を見つけた。

放課後に職員室のワープロを借り一心不乱に打ち込んでいた。数ヶ月で教えてくれていた先生と立場が逆転するまでになった。

1年前、左手の神経をおかしくするまでずっとワープロの仕事が続けていた。受験しなくても入れる高校と安易に決めたが、今でも入学して良かったと思っている。

そして今年、娘が高校を受験する。

成績は下の下だが、小学校、中学校と普通の子として一緒に成長してほしいと願い、普通学級で過ごさせていたが、親の希望と見栄の中、心苦しい思いも多かっただろう。

受験できる所は限られているが、今回初めて養護高等学校も選択肢に入れた。金銭的な問題も大きい、娘の将来と現状、取り払えない見栄。そして私と同じように夢中になれる事を見つけてほしい期待。

雪の残る暦上の春が、我が家の春になる事を祈る。

## もくじ

・巻頭言	1
・新年交流会のお知らせ	2
・釧路保健所への要望書提出と回答書	3
・難病医療補助見直しに対する声	6
・釧路地区合同レクリエーション報告	7
・健康まつり報告	8
・各部会の活動報告	9
・事務局だより	12
・年賀状、メ飾り販売報告	13
・釧路市四市町村合併に伴う支部報告	14
・トーチラン報告	15
・新聞記事	16
・編集後記	18

2005

## 新年交流会のお知らせ



2005年の幕が開きました。良い年であるようお願い、毎年恒例の『新年交流会』を下記の日程で行います。一年に一度の釧路支部の交流会ですので、楽しいひとときをお仲間と一緒に過ごしませんか。是非皆さんの参加をお待ちしています。各部会の新年会としてもご利用下さい。

### 記

- ・日 時：平成17年2月13日（日）11:30～14:00
- ・会 場：アクアパール（旧栄町会館）3階栄樹の間  
栄町8-3 Tel23-8211
- ・参加費：2,000円（1人）小学生以下は1,000円（1人）  
食事、飲み物付き 豪華景品もあるよ！  
（家族付き添いの方も同額とさせていただきます）

※今年のゲストは市内各イベントを中心に活動している「フレンズ」のお二人を迎え、唱歌から歌謡曲まで素敵な歌を披露して頂きます。ボーカル担当の方は難病のため車イス生活を送っています。その他カラオケ、ビンゴゲームなど楽しい企画を用意しています。



- ・参加される方は各部会に申込みして下さい。
- ・部会は参加者をとりまとめて2月10日まで事務局（さわやか釧路 Tel25-2012/Fax25-2042）に連絡して下さい
- ・釧路地域に部会が設立されていない会員の方は直接事務局（さわやか釧路）まで申し込んで下さい。

# 該当者への 特疾申請用紙郵送と 特疾更新申請の郵送申請の認可を 求める要望書を釧路保健所へ提出！

支部長 佐藤 信洋

特定疾患の制度が昭和47年にできてから、平成15年までは、特定疾患医療受給者更新申請用紙は保健所から該当者へ郵送されておりましたが、今年度から行政の見直しにより該当者が直接、釧路保健所（又は大病院、町村役場）まで受け取りに行く事となりました。

この事は、私たち難病患者・障がい者には重い負担となります事から、去る10月22日（金）に難病連釧路支部より佐藤支部長、小栗・尾崎・今野副支部長、市村事務局長の5人で釧路保健所を訪問、要望書を提出してきました。釧路保健所から荒田所長、直枝次長、細川健康推進課長、石川係長の4名に対応して頂き、特疾申請用紙の郵送と特疾更新申請の郵送申請を認めてもらう事を強く要望してきました。

要望書とそれに対する釧路保健所からの回答を掲載して報告と致します。



平成16年10月22日

北海道釧路保健所  
所長 荒田 吉彦 様

釧路市堀川町5番16号  
財団法人 北海道難病連釧路支部  
支部長 佐藤 信洋  
Tel0154-25-2012 Fax0154-25-2042

## 「要望書の提出について」

日頃より、難病連釧路支部の活動に対しまして、深いご理解とご支援を心より感謝申し上げます。

現在の、私たち難病患者・障害者とその家族をとりまく状況は、急速な高齢化による医療費の増大と、国、道、市町村の財政悪化により、平成13年より特定疾患医療受給者の一部個人負担の導入、平成15年より同一部個人負担に所得別制の導入、平成16年より重度障害者に対する所得による一部自己負担の導入、道単独特定疾患事業の大幅縮小が行われ、ますます厳しくなっております。

下記により要望書を提出致します。

## 要望書

### 要望事項

- 1、特定疾患医療受給者証更新申請用紙は保健所から該当者へ郵送して下さい。
- 2、特定疾患医療受給者証の更新申請は、該当者が保健所へ郵送申請することを認めて下さい。

### 主旨

昨年まで、申請用紙は該当者宛に郵送されてきておりましたが、今年より、該当者がそれぞれ釧路保健所（又は病院、町村役場）へ取りに行く事に変更となり、提出も併せ難病患者に多大な負担をもたらしております。

このことにより、今年の対象者3,800人に対して多くの方が手続きをせずしております。道内の大部分の保健所では提出を含めて郵送を認めており、今後、釧路保健所においても、ぜひとも郵送にての継続申請の案内、書類の送付及び郵送にての提出を認めるよう強く要望致します。

参考…平成16年\*用紙を該当者に郵送した保健所（一部）

札幌、旭川、函館、苫小牧、稚内、北見、網走、紋別、渡島、根室

\*用紙を該当者に郵送しなかった保健所（一部）

釧路、中標津、帯広

釧路保健第1169号  
平成16年11月8日

財団法人北海道難病連釧路支部  
支 部 長 佐 藤 信 洋 様

北海道釧路保健所長 荒 田 吉 彦  
(北海道保健福祉事務所保健副支部長)

### 要望書の提出について (回答)

平成16年10月22日付け要望のありましたこのことについて、次のとおり回答します。

#### 記

##### 要望事項

1 特定疾患医療受給者証更新申請用紙を保健所から該当者へ郵送して下さい。

回答：郵送にかかる費用が多額であることから、道本庁とも協議し予算の確保に努めて参ります。

また、更新手続きが一度で済むよう申請用紙を病院からも交付してもらえるよう各医療機関へ依頼して参ります。

2 特定疾患医療受給者証の更新申請は、該当者が保健所へ郵送申請することを認めて下さい。

回答：申請内容に不備があった場合に、やり取りに時間がかかることから、窓口での申請をお願いしているものですが、郵送による申請も受け付けています。

なお、本人以外のご家族による提出も受け付けていますので、ご協力をお願いします。

(健康推進課保健予防係)

# 難病医療補助見直しに対する声

## お金の切れ目は、命の切れ目

釧根肝友会 小栗 恒穂

昨年の夏は全国的に猛暑となり、秋も何となく暖かい日が続いていましたが、12月には釧路沖地震、暴風雪と続き、地球上の温暖化の影響でしょうか？。

私達、難病患者にはもっと厳しいことが報道されました。道は財政立て直しのため、道単独助成制度の難治性肝炎、橋本病の二疾患の医療費助成の打ち切りです。肝炎24,000人、橋本病16,000人、助成総額は2003年度実績で44億円。肝炎患者は45%、橋本病患者は95%が打ち切りとなり、道は助成額を3分の2～半分程度に圧縮できると試算しています。

一部症例が少なく、治療法が確立されていないから助成を継続するとのことです、難治性肝炎、橋本病を標的にしたとしか思われません。難病患者への医療助成費、特に母子家庭、重度心身障害者への医療費はどうなるのでしょうか。私達、難病患者や障害者など9団体が9月14日「医療費助成制度継続」と、伊東市長に要望書を提出しました。伊東市長は市財政の厳しい現状を説明、市の「福祉政策を後退させるつもりはなく、要望は真剣に受け止め道へも知事、幹部に要望する」と答えて下さいました。

17年度以降は厳しい状況です。私達一人一人が知事、議会に訴えなければなりません。

## 難病治療補助見直しについて

橋本病友の会 釧路連絡会 内山 由貴子

2, 3年前より特定疾患の見直しの対象にされた私たちの病气。いよいよ来年で打ち切りと新聞記事を読み、ついに来てしまったという感じでした。

病気の重い人は切らない、90%は打ち切り。

薬を飲み、難病と言われているのに、ただ人数が多いからと言われていたのですが、誰も病気になりたくてなったわけではありません。

たまたま付いた病气の名前が難病でした。

今まで沢山の方の協力を得て頑張ってきました。

最後まで諦めないで会員さん達と頑張っていきたいと思います。

## 難病連合同レクリエーションに参加して

膠原病友の会 釧路地区連絡会 上野 鈴奈

去る9月12日、難連の合同レクに参加させて頂きました。

音別でのパークゴルフは見事に最下位、しかも参加者の中ではおそらく一番年齢の若いはずの私が一番へばっていて、順番待ちの時間に芝生に座り込む有様…。己の体力の無さを再認識すると共に、参加して良かったと思える楽しい一日でした。

何より行き帰りに寄った恋問館！。何年ぶりかも思い出せぬ砂浜に何とも言えぬ喜びが湧き溢れました。が、その為に帰りは集合時間に遅れてしまい、恥の上塗り。皆様にはご迷惑をかけたおしの日でもありました。



## 健康まつり報告

10月3日(日)今年も釧路市主催の「くしろ健康まつり2004」が国際交流センターを会場に開催されました。

この日は健康について広い知識をもとと、各コーナーが設けられ、ステージ上では色々なプログラムも企画され、多くの市民で会場内は賑わっていました。

釧路支部も協力団体として難病相談コーナーを設置し、支部役員6名が、訪れた相談者5名の方へ対応に当たり、お話を聞く事ができました。又ボランティア2名の方に協力を頂きJPC国会請願の署名活動も合わせて行い、支部の活動をアピールする事ができました。

(報告 市村)



## 部会報告

### 膠原病

#### 膠原病医療講演会を終えて

釧路地区連絡会 鈴木 裕子

今年、釧路地区発足20周年を記念して、去る9月25日に交流プラザさいわいにて、医療講演会を開催しました。

講師に北大の渥美達也先生をお迎えして「膠原病の治療の進歩について」と題し講演して頂きました。

当日は雨模様という予報で、とても心配しましたが、どうにかお天気がもってくれてホッとしました。

一部の新聞報道が当日の朝というアクシデントにもかかわらず、55名の参加があり、遠くは十勝や根室からも会員さんが駆けつけて下さったり、渥美先生が昨年、日赤病院で膠原病外来を担当して下さいのおかげで、日赤の医療関係者の方々もいらして下さいました。

前半は膠原病の分類から始まり、自己免疫についての分かり易い説明と共に、現在使われているステロイドや免疫抑制剤の問題点や生物学的製剤など副作用の少ない新薬の開発が進められているという、私達患者にとって明るい展望が期待できるお話しで締めくくって頂きました。参加された多くの方が希望を持たれた事でしょう。

後半は事前に皆さんに書いて頂いた質問に対して、丁寧に回答して頂き、質問された方々も納得された事と思います。

そして嬉しい事に、この会場で友の会に2名の方が入会して下さいました。

この講演会を開催するに当たり、難病連釧路支部が共催を受諾して下さい、支部長を始めとする他の部会の方々にお手伝いをして頂き、無事終了する事ができました。本当にありがとうございました。

### 多発性硬化症

釧路地区連絡会 細川 弥生

去る10月23日土曜日、プラザさいわいにて茶話会・ビデオ上映会を開催しました。

上映したビデオは今年8月に小樽市で開催された「難病患者・障害者と家族の全道集会」2日目の医療講演会を録画したものです。約1時間にまとめた

ものを上映し、その後、昼食をとりながら楽しい時間を過ごす事ができました。時節柄体調を崩される方が多く参加人数は少なめでしたが、お互いの近況を伝え合ったり、特定疾患事業の事や重度医療の件など話題は多岐に分かれましたが、その割には茶話会らしくゆっくりとお話しする事ができたので良かったと思います。

## 橋本病

釧路連絡会 内山 由貴子

今年もあと半月で終わり。

春の集いから始まり、小樽の全道集会に4名参加。

8月の暑い中、釧路育ちの私達にはとても厳しい2日でしたが、楽しい旅行の一つでした。

そして秋の小旅行、阿寒湖畔へ2泊3日。紅葉にはまだ早かったのですが、ホテルの近くを散策し、美味しいものを沢山食べ、話しも沢山（少し足りなかったかも）し、楽しい旅行でした。

今後どうなるか分からない私達の会ですが、これから先もよい事がありますようにと思いながら帰ってきました。

来年は新年交流会の予定をしております。

## 筋無力症

### 釧根地区連絡会交流会を終えて

釧根連絡会 青田 典子

10月17日(日)東急インにて交流会を行ないました。

昨年からの取り組みで、札幌本部の皆さんが、各地域に出向いて、希望、要望を聞いてくれ、私達地域の患者にとっては、全道・全国の話しを生で聞ける良い機会を作ってくれました。

釧根地区は広く、今回は、残念ながら、釧路地区、6名の参加になってしまいましたが、それぞれの皆さんが、出向いて良かったと思える、交流会になってくれたかなと思っています。

私自身、多少、体調が悪くても、この会には、札幌へも出掛けて行きます。必ず一つ二つ、「得した！」という思いと、元気と希望をもらって帰ってきます。

来年度の計画も話し合いがなされ、会の患者だけではなく、広く筋無力症の患者、皆さんの為の交流会を開催出来ればと思っています。

「脊髄小脳変性症」は、原因不明の進行性の病気です。身体のみならず、字が書きにくい、歩きにくいなど手足の不自由さ、飲み込みや話しにくさ、排尿障害、眼振あるいは起立性低血圧、睡眠時無呼吸症状などを伴いますが、症状や進行の度合いは、一人一人異なり千差万別です。

友の会釧路地区連絡会は、2001年佐藤信洋釧路支部長のご尽力により、神利恵子事務局長を中心に発足しました。現在、会員は22名です。家に閉じこもりがちになりやすく、まだお会いする機会がない方も多く、お互いに顔を合わせ、話す事が心身のリハビリにもつながるのではと考え、10月2日は「患者・家族の医療相談会及び交流会」、11月27日には、会員同士の交流会を行いました。

10月2日には、会場の「プラザさいわい」に会員及びご家族の方々が8名、会員以外のご家族やご夫婦、友人の方々が10名参加し、当日、3名の方が会員になりました。

ご自身が患者でもある長村勝人北海道友の会会長や役員の方2名（1名は車イス）が札幌から、浅野いずみ釧路保健所保健師、難病連釧路支部役員3名の方々にも参加いただき、日常生活の状態や悩み、要望などを話し、助言をいただきました。中でも釧路保健所には、特定疾患医療受給者証の更新手続きについて強い要望が出されました。従来どおり通知や関係書類は、直接、本人宛郵送すること、又、受付業務の方には、熟知した方をお願いしたいと言うことでした。

又、11月27日の交流会では、5名の参加者で昼食をとりながら病歴や現在、抱えている問題などについて話し合いました。

病院や治療法、薬について、進行して不自由になっていく体に対応する住宅の増築にかかわる補助制度や自立した生活を保障する住宅や生活費の補償制度などについての問題が浮かび上がりました。少ない参加者でしたが、各自の思いをお互いに、より理解し合う場になったように思います。

今後は、病気をよく知るための医療講演会や、更にお互いに顔を合わせ理解し合う交流の場を多く持っていったらと思います。



## 事務局だより

◎2004年度  
（財）北海道難病連  
道東地区支部役員研修会が開催されます。

日 程：2月19日（土）  
～20日（日）中標津支部

◎難病連相談室を開設しています

日 時：毎週 月～金 AM 9:00～12:00  
場 所：難病連釧路支部内相談室  
釧路市堀川町5-16 「さわやか釧路」  
TEL 0154-25-2012 FAX 25-2042

◎ご協力ありがとうございました

寄 付…未使用ハガキ140枚  
パーキンソン病部会 久本定吉氏より  
コーラ他飲み物6ケース  
北海道コカコーラボトリング（株）  
鮭1函（8匹）  
丸高水産（株）

募金箱…昆布森 加藤商店  
（二分脊椎症児の部会）～5,080円  
標茶町 ホテルテレーノ～6,052円  
以上、敬称は省略させていただきます。

## 《年賀状印刷・ㄨ飾り販売の結果報告》

私たち難病患者・障害者の働く場所として、平成10年6月に設立した障害者地域共同作業所「さわやか釧路」の仕事として、又、各部会の活動資金の獲得のために平成11年より行っております年賀状印刷・ㄨ飾りの販売の平成16年の取り扱い状況を下記の通り報告致します。

年賀状印刷は毎年の事ながら、パソコンの普及と、高齢化社会が原因により、取扱金額は9.8%の減少となりました。今後は、お一人お一人のきめ細かな協力が必要です。

ㄨ飾りは他と比べて「低価格、高品質、箱入り」と言う事で、昨年比16.4%増となり、昨年を除き毎年増額となっておりますので、今後もこの状況が続けばと願っております。

さわやか釧路制作オリジナルと宛名印刷は昨年に大幅に伸びたのに対して、今年は9.9%減少となりました。今後は見本の種類を多くする事とPRの徹底が必要と思われれます。

全体的には1.3%の微減となり、昨年とほぼ同額でした。

各部会会員の皆様、平成17年度も是非ご利用を宜しくお願いします。

部会名	売 上			合 計	昨年度比 %
	年 賀 (ハガキ代金除)	ㄨ 繩	オリジナル 宛 名		
腎友会	929,040	516,080	31,350	1,476,470	▲10.0
肝炎	88,940	-	12,100	101,040	▲26.4
パーキンソン	23,510	16,570	-	40,080	▲12.7
ベーチェット	17,370	3,680	-	21,050	△73.3
オストミー	8,440	2,680	-	11,120	▲1.2
多発性硬化症	4,280	7,310	-	11,590	▲6.1
膠原病	85,190	78,460	2,850	166,500	△85.6
リウマチ	5,170	-	-	5,170	▲43.1
橋本病	25,550	27,580	820	53,950	△25.9
筋無力症	8,560	8,040	-	16,600	▲39.3
二分脊椎	9,310	16,810	-	26,120	▲26.4
後縦靭帯	36,170	96,380	-	132,550	△41.0
小鳩会	33,530	38,960	-	72,490	△63.3
脊髄小脳	-	7,150	-	7,150	△1.9
難病連釧路支部	46,430	45,180	7,510	99,120	△340.0
小計	1,321,490	864,880	54,630	2,241,000	△0.4
さわやか釧路	700,965	503,670	36,470	1,241,105	▲4.3
その他	275,720	137,040	19,850	432,610	▲9.4
合計	2,298,175	1,505,590	110,950	3,914,715	▲1.3
昨年	2,548,538	1,293,490	123,200	3,965,228	-
昨年比	▲9.8%	△16.4%	▲9.9%	▲1.3%	-

# 「釧路四市町合併に伴う支部合併について」

支部長 佐藤 信洋

去る9月25日（土）に、釧路支部、白糠音別支部、阿寒支部の三支部長が、釧路支部の事務所に集まり、四市町の合併が平成17年10月11日の予定と決定的になったことから、合併後の各支部の対応について第1回目の協議をしました。約2時間の協議の結果、基本方針のみ決定し、細部については四市町合併協議会の推移をみながら、支部としての対応を、次回以降三支部長会議で協議することになりました。

## \* 主な協議事項 \*

- 1、釧路・白糠音別・阿寒の三支部を合併し、釧路支部とする。  
白糠音別、阿寒の2支部をそれぞれ釧路支部の分会とする。
- 2、分会となる白糠音別・阿寒支部は原則として、今まで通りの活動を継続する。
- 3、合併後は、分会からも役員選出し、釧路支部の運営に参画する。
- 4、合併の予定日を平成18年3月31日とする。
- 5、平成17年度については事業計画どおり本年度（16年度）事業の実績をふまえて各支部で計画立案する。
- 6、平成18年度の事業計画は、合併後の新支部体制で企画立案する。
- 7、共通の事業（合同レク・役員研修・国会請願）については、新支部となる釧路支部の事業として取り組む。その他の事業については、各分会で計画立案し、活動する。



## 2005 スペシャルオリンピックス 冬季世界大会（長野大会）

「500万人トーチランin 釧路」に参加しました。

小鳩会釧路分会 市村 由紀子

去る10月10日、今年2月に長野で開催する「スペシャルオリンピックス冬季世界大会」を前にトーチ（聖火）ランが釧路市で行われ釧路分会も約30の参加団体の中に加わり、アスリート5名、伴走者として3名が参加しました。

この日は、同じ会場で開かれた「くしろスポーツフェスティバル2004」の昼のセレモニーとして行われ、バルセロナ五輪金メダリストの岩崎恭子さんをゲストランナーに、知的障害者と伴走者、家族や市民約200名と一緒に競技場のトラックを100,200メートルずつトーチを持ってリレーし、約1500メートルのコースを走りました。

アスリートとして岩崎悠衣さん（小3）、千葉純花さん（小4）、市村純くん（小5）、大藤花歩さん（小6）、阿部めるもさん（中2）の5名が、伴走者として母親3名が行動を共にしました。また、作業所で働く仲間と一緒に田名部伸雄さん、松浦理恵さんのふたりが参加していました。みんな初めての体験のため、緊張した表情でトーチを手にしていったのが印象的でした。最後に参加したみんなの手で、聖火台に火が灯され、とても感動的なシーンを味わう事ができました。「参加して良かったね。」と思い出に残る貴重な経験でした。

次の日には北海道新聞や地元の新聞に大きく報道され、スペシャルオリンピックスを広く皆さんに伝える事ができました。今回のトーチランに参加するにあたり、難病連釧路支部より伴走者の参加費の一部を負担して頂いたことも併せて報告いたします。



派遣先『有限会社やまだ』様が  
平成16年度釧路市障害者雇用有料事業所  
表彰を受賞！！

障害者地域共同作業所「さわやか釧路」が平成11年より、弁当の製造、配達及びパソコン入力作業のため3人を派遣させて頂いております有限会社やまだ様は、難病連釧路支部の推薦により平成16年度釧路市障害者雇用優良事業所の表彰を12月20日に釧路市、伊東市長（代理松倉副市長）より受けました。

同社はJR釧路駅に弁当・おにぎりの売店がある老舗で、釧路市民の間ではかなり有名です。

今回の受賞に同社山田社長、中村専務はじめ、私達も大変喜んでおります。



表彰を受ける「やまだ」の中村専務



市 社会貢献たたる  
優良勤労障害者など表彰

釧路市は20日、市内鶴 美原の油井慎吾さん（第 女の社、製造販売業の 一クリーニング勤務）優 秀な勤労者として、そ の表彰式を行った。同 表彰は毎年この時期 同市桂窓でコンパニオン 業を営む波平イコ子さん（釧 路市東部漁協所属）と同 者、勤労障害者を表彰し

ているもので、今年で24 年目。厳しい経済状況の 中で障害を持つ勤労者を 雇用する事業者に感謝の 意を表するとともに、障 害を持つながら社会に貢 献する勤労者をたたえ、 これからの励みにしても らうのが狙い。

表彰式では、松倉豊副 市長が「障害のある人も ない人も一緒に働き、お 互いを理解し合う社会が 大事。今後もいきいきと 働いてほしい」とあいさ つ。受賞者を代表して油 井さんは「身に余る栄誉 と感謝の気持ち。いつは い、きょうの喜びを忘れ ない」と感謝を述べた。

（岸上 渉）

# くしろギネスに挑む

スポーツフェスに延べ6500人



岩崎赤子さん(右)とともに、聖火を運ぶ障害者ら

## 聖火リレー「トーチララン」も

### バルセロナ五輪金 岩崎さんゲスト参加

「君たちの挑戦が感動となり」をスローガンに、今年もくしろスポーツフェス(バルセロナ)「同業自派会」が10月、川崎市大規模運動公園で開催され、市民の延べ6人、障がい者が大会記録である「くしろ五輪」の聖火をリレーし、17種目に挑戦し、「スボーツの秋」を盛り上げた。この中で、昨年2月に長野県で開催する「スベニヤルオリンピック」を世界大会に向け、聖火リレー「トーチラン」も開催。バルセロナ五輪金メダリストの岩崎赤子さんとスベニヤル「チー」は、知的障害者、伴走者約200人が参加した。関連記事2面に。

同フェスティバルは、くしろ市障がい者福祉会、前野の「川崎市市民大運動会」から数えて約10回、毎年「スベニヤル」の「くしろ五輪」を目指し、市民の延べ6人、障がい者が大会記録である「くしろ五輪」の聖火をリレーし、17種目に挑戦し、「スボーツの秋」を盛り上げた。この中で、昨年2月に長野県で開催する「スベニヤルオリンピック」を世界大会に向け、聖火リレー「トーチラン」も開催。バルセロナ五輪金メダリストの岩崎赤子さんとスベニヤル「チー」は、知的障害者、伴走者約200人が参加した。関連記事2面に。

## ◎編集後記

青田 典子

だんなも、子供も居ない、独身貴族の私ですが、親は2人居て、年相応の身体になり、「父ちゃん元気かい?」「母ちゃん大丈夫。」と動き回っています。父は頑固、母は気丈と、なかなか子供の言う事など聞いてくれませんが、親の為に動ける事に感謝しています。

寒さがきびしくなってきましたので、父ちゃん、母ちゃんは子供の為にも、風邪などひかぬ様、気を付けて下さい。子供はとても心配なのです。

荒川 美恵

美女、三人と笑いあった苦しい編集時間をありがとう!!しあわせなひとときでした。

新年度は、ぜひ、新しい仲間が加わることを期待しています。

市村 由紀子

新年を迎え、新たな気持でスタートです。

まだまだ冬の厳しい寒さは続きそうですが、春よ早く来い!と切に願う毎日です。

今年1年 良い年でありますように。

渡部 小夜子

災害のニュース、戦慄するようなニュースの何と多い事。

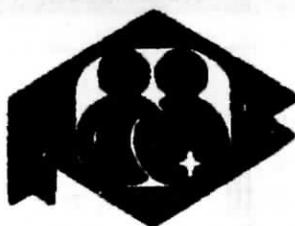
人間の性善説を信じ、穏やかな年であるようにのるばかり。

?十年振りに深夜の年明け早々、初詣に行って来ました。

橋本 秀子

私のミトコンドリア病は希少難病なので、同病の方との出会いもなく、情報も得られず、心細くもありました。

でも、去年、初めてお話しする事ができ、その喜びを改めて痛感しました。これこそ難病連のメリットだと思い、「なんれん」はその一翼を担っている事を再認識しながら、今年もお手伝いさせてもらうつもりです。



わたしたちも 赤い羽根  
共同募金に協力しています。



赤い羽根共同募金運動は、地域のさまざまな福祉活動を支えています。昨年みなさまから寄せられた寄付金は、わたしたちの施設にも届きました。

今年もみなさまのご協力を  
お願いいたします。



みんなの力が支えています  
赤い羽根共同募金

---

## HSKなんれんくしろ

---

HSKなんれんくしろ 第43号

昭和48年 1月13日第三種郵便物認可  
平成17年 1月20日 発行/HSK通巻394号 (毎月 1回10日発行)  
発行人 北海道身体障害者定期刊行物協会 細川久美子  
札幌市西区八軒8条東5丁目4-18/Tel 011-736-1724  
編集・印刷 さわやか鋼路 (870部印刷)  
鋼路市堀川町5-16 Tel 0154-25-2012

---